**Back Number 1**

[](file:///D:\Akkordeon_Japan_Home_Page\Home_Page\Back_Number\Back%20Number.htm)

[](file:///D:\Akkordeon_Japan_Home_Page\Home_Page\index.htm)

**アコの調律**　投稿者： [**川井　浩**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=59&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月28日(月)08時13分14秒

アコの修理については試行錯誤とドイツの友人達のアドバイスでそこそこできるようになりつつあると自負していますが、調律については現在準備中です。　専用の装置をいくつか購入したり、製作する必要があるほか、いくつか勉強と練習が必要なのでもう少し時間がかかると思いますが、これは是非マスターしたいと考えています。　やはり、メンテナンス無くしては安心してアコを演奏できませんし、アコ自身が広がらないですものね。　４月にはドイツ、イタリーのアコメーカーを訪問する予定で、その際に修理に関するアドバイスを受けてくるつもりです。　東京でも渡辺楽器様にいらっしゃった著名な修理のできるかたがお亡くなりになったと伺いました。　早くマスターできるようにがんばります。　ところでピッチが高くなったとは実際に周波数が狂ったということでしょうか、あるいはごみ、錆、バルブの劣化などで音が狂うことがあり、これならいわゆる本当の調律でなくても直る場合もかなりあります。　よろしければエアパッキンで二重三重に巻いて、輸送途中で壊れないように梱包してお届けいただければ拝見してチェックすることは可能です。　拝見してチェックするだけでしたら、御代はいりません。　送料だけご負担ください。　ただし、普段の仕事と4月は海外出張がちょっと重なるのでお時間はかなりいただきたいですけど。　ただ、その年式のものだと革製のバルブが劣化・硬化していてバルブの張替えが必要となった場合にはかなりの手間とコストがかかることが予想されます。工程としてはリードフレームをワックスを溶かして剥がしてとりだし、２セットづつついているバルブを張替えサイドリードセットに組み込みワックスでシールドする必要があります。通常はそこで周波数のチェックもします（が私はまだ周波数のチェックの装置が無いのでできません）。　ただ、いくつかの音だけが調子が悪いというのであればそこだけを集中的にやっつければいいとなるとそれほど大仕事ではないかもしれません。

**軽くて音がきれい**　投稿者： [**川井　浩**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=58&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月28日(月)07時36分24秒

やまぐちまりこ様、ようこそ～！ (^O^)/~ 　まず、アコの重量の件、たしかに立って、歩いて、となると500ｇでも軽いほうが楽ですよね。　私でしたら、思い切って３７鍵９６ベースか３４鍵７２ベースのものにしてしまうとおもいますが、ベースの少ないモデルはどちらかといえば入門機が多くて、プロ用とは言いにくい製品がほとんどだと思います。　プロが使えて、軽くて、音がきれいで、それもでかい音がでる、となると、私の現在の手持ちのモデルのなかではHohner Cassotto 1が秀逸です。重量は１０ｋｇ前後（あとで正確に報告します）ですが、３７鍵９６ベース、４リードでCassotto（チャンバータイプ）です。　このアコはいくつかの音をだしただけで惚れちゃう人がほとんどです。　同じサイズ、同じ重量、同じ３７鍵９６ベースでもCassotto無しのモデルがFavorit IV Pで、価格はCassotto 1の約半分。　年式はもう少し古くなりますが、音きれい、重量7.5kg、３７鍵９６バスのLucia IV Pも４リードの割りにコンパクトで結構でかくて、澄んだ音色で僕は好きです。　キーストロークが最新型に比べて長いので、速い曲を弾くには指が飛び跳ねなくてはなりませんが、昔の人はこれで熊蜂は飛ぶなんて弾いていました。このモデルも昔は結構プロが使っていました。　年式が新しくて結構コンパクト、音色最高、音量でかい、キーストローク短い、目方１０ｋｇで一押しはHohner Cassotto 1、ちょっと我慢してコスト抑えるならFavorit IV P、思い切ってコンパクトで軽量、でも音色では妥協しないLucia IV Pもお勧めです。　僕の耳には音はFavorit IV PよりLucia IV Pのほうが澄んだ音色で、クラシックも弾けます。でも、実際にはひきくらべてみて一番ぴったりするのが見つかるといいのですけどね。あ、忘れてましたがHohner Concerto III Tは３リード、３４鍵盤７２ベースですが、とっても小さいのに立派な音がでます。私も迷います。  


**はじめまして**　投稿者： [**やまぐちまりこ**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=57&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月28日(月)02時20分1秒

ヤフーのオークションからたどりつきました。福岡でアコを弾いています。フラメンコギター（１代目が年明けそうそう上京してしまったので、現在、スペイン帰りたての彼の先輩が２代目）と二人で活動しています。デュオ以外に、ちんどん屋で演奏？したりしています。今、エキセルシャー１２０ベースで、少しだけ鍵盤の幅が細く、気持ちだけ軽量のものを使っていますが、私は１４７センチ、３８㌔とチビですので、立奏や、ちんどんはかなり大変で、また、屋外での演奏では楽器への負担が気になり、１００％の演奏ができません。ある程度ベースの数があるもので、音が美しく、できるだけ軽量、、、という私のワガママがかなう楽器がありましたら、ぜひ教えてください。それから、第一次世界大戦前に日本に入ってきたパオロ　ソプラーニをもっていますが、音は全て出るものの、年数が経ち過ぎているため、かなりピッチが高くなり、聞き苦しくなっています。福岡にはアコ修理師がいません。昨年、東京のアコ仲間から紹介された大阪に住む修理師さんにお願いしようと思っていたところ、急死されてしまい、困っています。桑山哲也さんや小松亮太さんも彼に依頼していたようで、小松さんは、修理できる人がいなくなったので、他人の楽器を借りてきたとテレビで話していました。なんとか復活させたいものです。静岡にメーカーがあると聞きましたが、やはりメーカーに依頼すべきなのでしょうか？料金も気になります。初めての書き込みでずうずうしくて申し訳ございません。

[http://ririmari.hp.infoseek.co.jp](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=JU&JUR=http%3A%2F%2Fririmari.hp.infoseek.co.jp)

**いいアコ、いい音、いい音楽**　投稿者： [**川井　浩**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=56&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月22日(火)07時18分56秒

奈良のアコ弾き様、ようこそ～！ (^0^)/~ 　またお一人アコ大好き人間にめぐり合える幸せを感じております。　趣味はなにかと聞かれてアコーディオンと答えたときの相手の目は大概、点になっていて、まるでＥＴでも見つめるような目つきになることが多い。　そのうえ、｢え”～、アコーディオ～ン？｣としり上がりに再度きいてくる。　自分でも半分ＥＴなったような気分になってしまい、つい人差し指を恐る恐る伸ばして｢ア～コ～｣などといっている。　こんなアコ知らない人間の住む、サルの惑星に降り立った人間のように、お互い人間同士、あっ、いえ、アコ大好き人間同士だと認識した瞬間の安堵感のようなものを強く感じます。　ボタン語とかピアノ語とかの違いとか、ボタン語にもＣ言語とＢ言語があっても、お互い｢アコの音｣で結ばれている間柄という安心感と信頼感があります。日々の練習という修練を通して、我々がアコという道具を使って音楽という地上の楽園へと向かう修行の道を行く求道士同士であるという認識はあまりにも哲学的でしょうか？　貧富の差なく人々を至福に導くもの、音楽は少なくともそのうちの一つでしょう。その音楽にもやはりよりいいものと、どちらかといえば聞きたくなくなるものがあるように、それを奏でる楽器にもよりいいものと、耳障りなものがあるわけですよね。　いずれにせよ限りある人生、どちらかといえば、いい音のする楽器でいい音楽を聴いたり奏でたいと思います。　芸術は経済と切り離しにくいことはわかりますけど、アコの世界でもおきている価格優先、悪貨が良貨を駆逐するがごとき現象は嘆かわしいものがあります。　せめて、これがアコへの興味を引き出すきっかけになればと思いますが、自分の経験からすると、アコへの興味はいい音を聞いたから、だったように思います。　廉いアコを買って一人でぶがぶがやっていたときはもうやめようと思っていましたから。　いい楽器をできるだけ手の届く価格でお届けしたいと常々考えております。

**楽器雑感**　投稿者： **奈良のアコ弾き** 　投稿日： 3月21日(月)21時30分3秒

　わたくしは、1936年型ポンコツのアコ大好きじじいです。  
その昔、学生コーラスの伴奏などをしているうちにアコの魅力にはまり、4年ほど我流で鳴らしていましたが、「仕事を軌道に乗せるまで」と中断したものがついに仕事の鬼になってしまって、たまにショパンなどぶかぶかと鳴らす程度。そしていつのまにか65才になっていました。  
　仕事は、安心できる後継者ががんばっていますので、一度はあきらめた道をこの歳になってもう一度やって見ることにしました。あの音色は忘れがたく、セミプロの旧友に弟子入り。指運びは何とか覚えていましたのでヨタヨタしながらパーマーヒューズの７まではたどり着いたようです。  
　思えば、どんなにしんどくても、アコをやり続けておけばよかったなあ！と後悔しきりです。若さは何ものにも変えがたい。ところで、オイルショック以後のアコにはかつての繊細な手仕事のストラデバリのような音色が失せて、利益優先の無機質な軽薄さが鼻につきます。古いホーナーやエキセルの音色は、人間のぬくもりが伝わってきます。高価だけれど手仕事に誇りをもって作り上げた楽器職人の名機は、もっと多くの演奏家によって伝承されるべきだとしみじみ思っています。

**Delicia**　投稿者： [**川井　浩**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=54&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月19日(土)14時54分2秒

むらやま様ようこそ！　私もDeliciaの小さいモデルをドイツに出張時にDusseldorfの楽器店にて買い求め、出張期間中ホテルで弾いて遊んでいたことを思い出しました。 Hohnerがほしかったけど同じ値段だと１クラス上のモデルが買えたので試しに買ってみたのですが、細かい仕上げなどが若干気になった以外は、結構使えました。　いざそのメーカーが無くなってしまうと思うと残念ですね。　旧ユーゴスラビア、現スロベニアのZupanはドイツではHohnerに負けない品質と定評があっただけに、独自のマーケティングを放棄して製造に専念すると聞いて、やはり、厳しいものがあることを実感しました。　幸いZupanの独占販売権を入手したドイツのDealerは販売・サポートに熱心でこれまでのところドイツを中心にZupanの評価をかなり高めた功績もあり、逆にZupanが生き延びる道ができたと評価できるかも知れませんが。　ロシアのバヤンについてはやはり西側諸国でのマーケティングでハンディキャップを負っているようです。　バヤンの最大手Jupiterでも西側の最大の販売先はドイツのDealerみたいですが、そのDealerがメーカーとのコミュニケーションで苦労しているような節があります。　当面バヤンはロシアという根強い市場があるので、いけるのではないかと思いますが、でも、やはり中国アコの進出はロシアであればさらに価格面で攻勢にさらされる恐れもあると考えます。　中国アコ旋風恐るべし。　ただ、これまでアコといえば高すぎてほとんど手が出せない楽器であったものが、庶民の楽器として広まる可能性を秘めているので、まんざら悪い面だけを悲観的に考えることは無いとかもしれません。　長屋の八っつぁんでも持っているようになれば、日本にも第３次アコブームが起きるかもしれない.....それは無いかな？　ところで、むらやま様、ご本人確認のため、次回からはメールアドレスもお願いしますね。

**メーカー再編ですか…**　投稿者： **むらやま** 　投稿日： 3月19日(土)13時09分24秒

はじめまして。ヤフオクつながりでこのH/P拝見しております。  
ところで私の愛機はトンボ楽器で買ったDeliciaのボタンアコなのですが、Deliciaも製造停止なんですか？！廉価だけれど結構しっかりした楽器で、ぜひ頑張ってもらいたいメーカーだと思ってたんですがねぇ。楽器に限らず、良心的な製品を作ることと商売として上手に会社を継続することが必ずしも両立しないという例はたくさんありますね…。

**Paolo Soprani**　投稿者： [**川井　浩**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=51&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月19日(土)11時11分5秒

本日、新たにヤフオクの入札に加えたのがこちらイタリーPaolo Soprani社製チャンバー付アコ。　中国のParrotがこれのデッドコピー・レプリカを作るぐらいの伝説のモデル。３リードで軽いのに１８種類の音色が出せ、かつチャンバーサウンドまで楽しめる画期的なデザインのモデル。　このような技術的なチャレンジを見ると職人や芸術家の創造性、愛情、独創性を感じて興奮します。　人と同じことしかできない日本人一般への強烈な一撃だと思います。　ホンダやソニーが世界で認められたのはそのたゆまぬ創造性、独創性、チャレンジではなかったでしょうか？　中国製アコをＯＥＭで仕入れブランドだけ変えて販売する日本のアコメーカーに将来はあるのだろうか？　もっとも、かのPaolo Soprani社も現在はこちらも著名なScandalli社とMenghini社とが一緒になってできたMenghini社の一員です。　Menghini社ではScandalli、Paolo Sopraniブランド製品のほかに独自の新ブランドSEMブランドも持っています。  


**最近のアコメーカー事情**　投稿者： [**川井　浩**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=50&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月18日(金)18時59分46秒

最近の国内ブランドのアコはほとんど中国製みたいですね。これは日本だけでなくヨーロッパにもかなり出回っていて、かつての有名ブランドが中国製のアコを自社ブランドで販売するケースも増えてきているようです。　かのドイツのトップメーカー、Hohnerも入門機から中級機までは中国製になっており、ドイツのTrossingen工場で作られたものだけが"Made in Germany"と誇らしげに宣伝されている有様。　チェコのDeliciaは生産を停止。　スロベニアの名門Zupanは販売権をすべてドイツの販売会社に移譲。　イタリーのエキセルシャーは実は今はPigini社のワン・ブランド。　かの有名なイタリーのScandalliとPaolo SopraniもイタリーのMenghini社のブランド。　Castelfidardoでは何かが起きている。　世界的なアコメーカーの再編成が進行中という感じがします。　中国製アコの普及に伴い、世界的にアコメーカーの整理統合が進んでいるようにも見受けられます。　アコの世界は普及品としてのマスプロ製品と、マエストロが工房で作る手作りの高級品に二分して進化していくように思われます。

**ＣかＢか？**　投稿者： [**川井　浩**](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=BMFO&CID=48&BD=5&CH=5&OF=90) 　投稿日： 3月15日(火)02時46分0秒

yoshi様、ご投稿ありがとうございます。Ｗｅｂを拝見しました。　Ｂ式も捨てたもんじゃないみたいなので、一安心。　この際、Ｂ式でしばらくがんばってみます。　おもしれぇ！　実際、Ｋｅｙ配列はピアノからの移行でもあまり違和感が無い感じです。　北欧、ロシア、東欧とくればあのいろいろな好きな音やアコードが出せそうな気がして興奮しております。　ロシア製バヤンでのプロ奏者も多数いることからＢ式もそれなりにファンがいるものと思われます。　｢おれはＢだ、やれるもんならやってみろ｣なんて偉ぶるのも結構快感だったりして。　まぁ、ひければの話ですが。

[http://www.akkordeon.jp](http://9031.teacup.com/hieronymus/bbs?M=JU&JUR=http%3A%2F%2Fwww.akkordeon.jp)